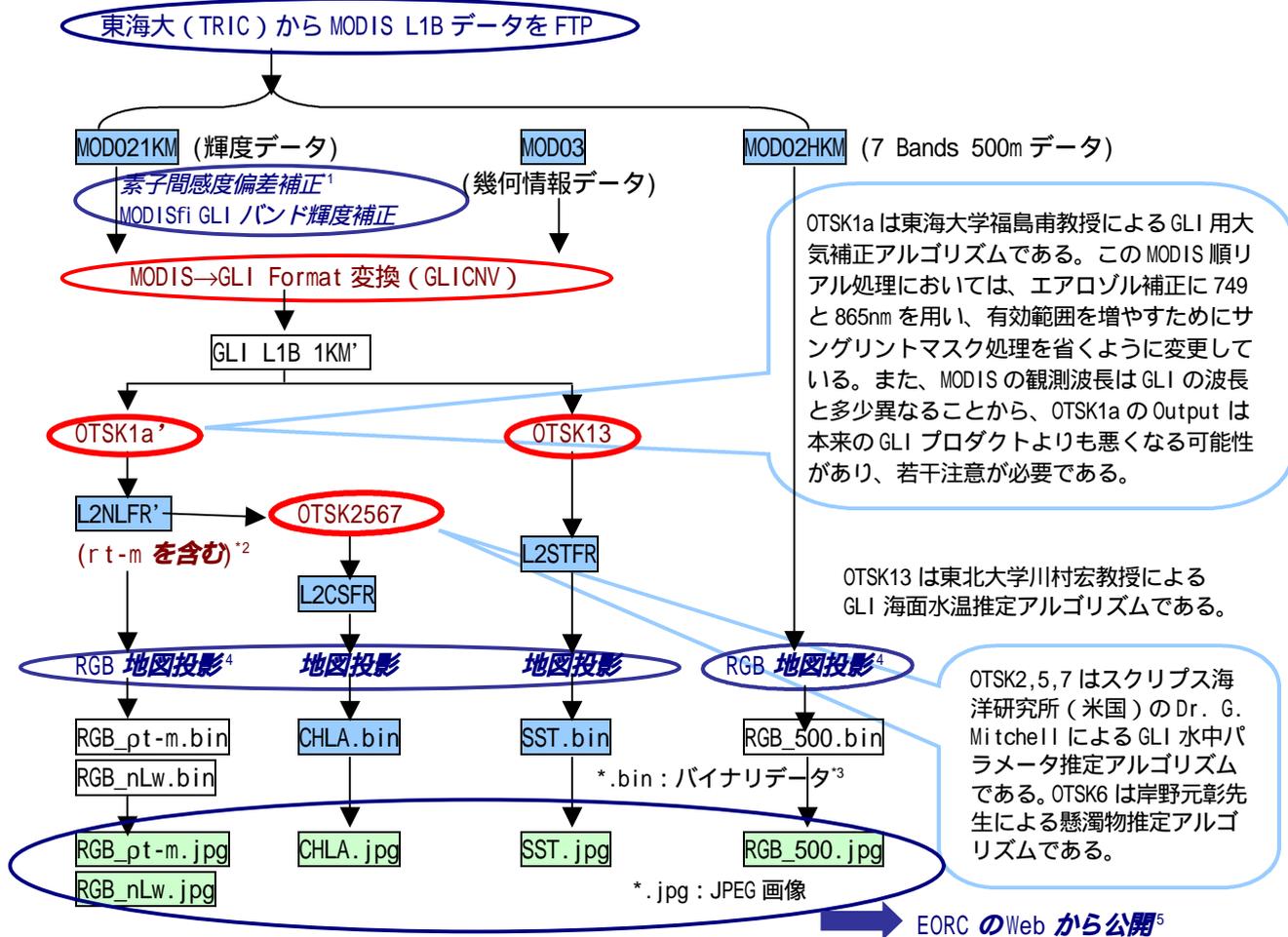


NASA 地球観測衛星 TERRA 搭載センサ MODIS の観測データを、東海大学情報技術センター (TRIC) が受信・輝度/幾何変換処理 (Level 1B) 処理を行い、そのデータを宇宙開発事業団 (NASDA) 地球観測利用研究センター (EORC) が ADEOS-2 搭載センサ GLI 用に整備している物理量推定アルゴリズムを用いて処理し、クロロフィル a 濃度や海面水温画像などを公開することになった。以下はその処理フローである。



□ : テンポラリファイル □ : EORC で保存するファイル □ : Web で公開するファイル

Algorithm : アルゴリズム by ADEOS/Ocean Project, OTSK* : by ADEOS-2/GLI project

*1: MODIS L1B データのシーン毎に素子間感度偏差係数を算出し、補正を行う。

*2: OTSK1a でレイリー補正済み反射率 (pt-m) を出力するように修正している。

*3: CHLA と SST では 2byte、pt-m と nLw と 500m バンドの RGB では 1 byte、3 band のバイナリデータを作成する。

*4: pt-m と 500m データの RGB では 659, 555, 470nm (MODIS channel 相当)、nLw では 666, 545, 460nm を使用。

*5: CHLA, SST, RGB_pt-m, RGB_nLw, RGB_500m のバイナリファイルから jpeg 画像を作成し、EORC のホームページから Web 公開を行う。

ファイル名仕様

A2GL1(YMMDDHHmm)OD1_(プロダクト名)_(pixel サイズ)_(line サイズ)_(パラメータ).jpg

MOD02HKM_A(YMMDDHHmm)OD1_(プロダクト名)_(pixel サイズ)_(line サイズ)_(パラメータ).jpg

YMMDDHHmm: 年 (世紀の下 2 桁、月、日、時間、分)

(例) A2GL101051701510D1_OCSFR_03041_03554_chla.jpg (5月17日のクロロフィル a 濃度画像)

A2GL101051701510D1_OSTFR_03041_03554_sst.jpg (5月17日の海面水温画像)

A2GL101051701510D1_ONLFR_03041_03554_nLw.jpg (5月17日の nLw の RGB 画像)

A2GL101051701510D1_ONLFR_03041_03554_RcRef1.jpg (5月17日の地表反射率 RGB 画像)

MOD02HKM_A20010517015129_04263_06861_HKrgb.jpg (5月17日の 500m 衛星観測輝度 RGB 画像)